

ふくしまの“命”を守る。

自民党議員会 NEWS vol.24

令和4年3月発行



<https://www.jimin-fukushima.jp/>

更なる新型コロナウイルス対策を 県に要望

県民の命と暮らしを守る
様々な施策が実現



新型コロナウイルス感染症の第6波が猛威をふるい、全県的な感染再拡大となる中、県議会最大会派の自民党議員会は、県に対し、県民の安全・安心の確保、県民生活の回復などを求める要望活動を進めました。要望では、「まん延防止等重点措置」の適用地域の

拡大、病床確保と患者受け入れ体制の強化、新型コロナウイルス対応に取組む医療機関に対する支援等財政支援の強化などを求めました。こうした要望等を踏まえ、「まん延防止等重点措置」の全県適用、入院病床・宿泊療養施設の増床・増設、影響が生じる飲食店の支援などの対応施策が実現しました。

防災・減災、国土強靱化のための 継続的な財源確保を県に要望

台風19号からの復旧が着実に進展

自民党議員会は、県の新年度当初予算の中で、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」の確実な実施を求め、関係施策が盛り込まれました。同加速化対策

は県民の命と財産を災害から守る大切な取り組みで、自民党議員会は必要な財源の確保などを継続的に要望しています。こうした取り組みの中で、令和元年東日本台

風被害からの復旧が着実に進展しました。自民党議員会は県民の皆様のご意見を踏まえ、今後も県に対し、防災・減災、国土強靱化のための対応を求めています。



県道水原福島線
福島市小田字山ノ在家地内

一級河川広瀬川
伊達市月舘町下手渡字並棚地内

令和4年「だて支援学校」開設 自民党議員会が尽力

県が伊達市保原町大泉字大館地内に整備を進めてきた「だて支援学校」が4月に入学式を迎えます。開校式は5月中旬に予定されています。地域の特別支援教育の中核となる施設で、自民党議員会が整備を長年求めてきました。場所は旧保原小跡地で、校舎や屋内運動場などを整備します。校舎は普通教室棟と特別教室棟に分かれており、普通教室棟にはプレールームや



自立活動室など、特別教室棟には地域支援センター、ランچルームなどを設けます。今回の開校により、伊達地区内の児童・生徒、保護者の負担の軽減や特別支援教育の充実が期待されます。

ふくしま医大のTRセンター 浜通りサテライト、開所へ

福島医大が南相馬市原町区に整備を進めていた「医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター（TRセンター）」の浜通りサテライトが昨年11月、開所しました。現在、新型コロナウイルス感染症の治療や予防に有効な抗体医薬品の開発支援に取り組んでおり、県民の健康維持増進につながる感染症・



(左) 県立医科大学理事長兼学長 竹之下誠一氏
(右) 医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター 副センター長 家村俊一郎氏

アレルギー、がん医療分野を中心とした抗体医薬品等の研究開発の拠点としてのTRセンターの役割が期待されます。

新型コロナウイルスでの不自由な生活を強いられている今
感染防止や経済活動を牽引できるよう推し進めます。



農林水産委員会 委員長
佐々木 彰
伊達市霊山町掛田字西裏52-2
TEL.024-586-1038
FAX.024-586-1046
kakedaki@nifty.com

自由民主党福島県議会議員会 幹事長
西山 尚利
福島市土湯温泉町字杉ノ下25
TEL.024-529-7836
FAX.024-529-7837

自由民主党福島県議会議員会 副会長
太田 光秋
南相馬市原町区東町3-41
TEL.0244-25-0321
FAX.0244-24-4890

議会運営委員会 委員長
佐藤 雅裕
福島市荒町5-34
TEL.024-521-2556
FAX.024-522-5959
E-mail:sato-masahiro@zav.att.ne.jp

商労文教委員会 副委員長
渡邊 哲也
福島市瀬上町字行人堂1-3
オフィスオバラ1-A
TEL.080-2839-0109
FAX.024-524-1035
E-mail:watanabe1976@watanabe1976.jp

ふくしま自民党